



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第21号

2016年10月発行

ナビゲーションシステムを導入しました！！

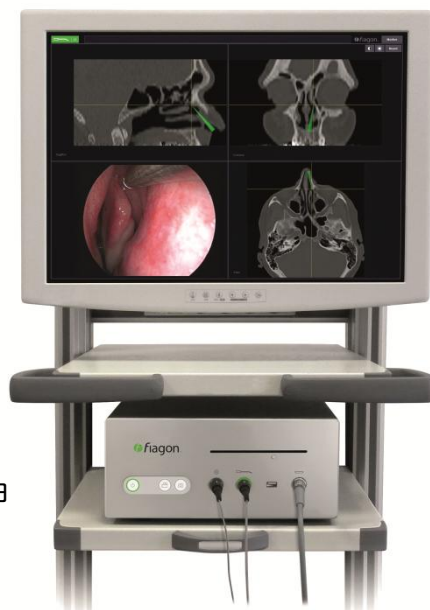
本年7月、鼻・副鼻腔手術用ナビゲーションシステムを中央手術室に導入しました。手術用ナビゲーションシステムは、平成20年から耳鼻咽喉科や脳神経外科、整形外科などの手術で保険適用され、用いられるようになってきました。しかし、まだ大学病院等の大病院にしか設置されていないことが多いというのが現状です。今回、北摂地域では大学病院以外で初めて当院に導入されました。また、ドイツFiagon社製の最新ナビゲーションシステムは、当院が国内初導入です。

○ナビゲーションシステムとは？

手術時に器具の位置情報を術前の画像データに重ね合わせて表示することで手術を支援する装置です。



上図：ナビゲーション手術時の状態



右図：ナビゲーション本体（下）と、ナビゲーション中の画面

○ナビゲーションが必要な理由は？

鼻・副鼻腔は、脳や眼などの重要な器官と隣接しています。それらを損傷すると重篤な合併症が生じる可能性もあります。また、副鼻腔は構造が複雑であり、個人差も大きいです。手術中に手術部位をリアルタイムに画像上で確認することができるナビゲーション手術は、手術の安全性を高めるために有用となります。

○ナビゲーション手術を受けるにあたって体への負担はありますか？

鼻・副鼻腔の手術を受けられる患者様は、外来受診時に撮影したCT画像を用いてナビゲーションが可能となりますので、体への特別な負担はありません。また、手術時には額（ひたい）に500円玉程度の小さな器具を医療用両面テープで取り付けるだけです（上図参照）。なお、受診の際、他院で撮影された副鼻腔CT画像を持参された場合、撮影条件によっては当院での再撮影が必要になる場合があります。

◎年間約100例の副鼻腔手術を行っており、入院期間は最短4日間です。手術は、ほぼ全例全身麻酔で行っております。手術にナビゲーションを用いるかどうかは、手術内容により異なります。ご不明な点は、診察時に耳鼻いんこう科の担当医にお問い合わせください。

患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

ESD治療について

早期食道がん及び早期胃がんの内視鏡的治療

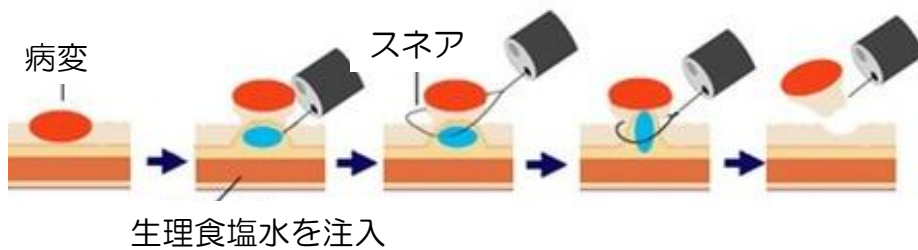
従来より、ポリープなどの良性腫瘍や病変が小さな早期食道がん、早期胃がんに対して粘膜病変を生理食塩水を注入し持ち上げて鋼線のスネアをかけて高周波により焼灼切除する方法であるEMRが広く施行されてきましたが、病変が大きい場合は一括切除が困難となり、分割切除になることによって、がん組織の取り残しなどの評価ができないこともありました。

そのためEMRによる技術的限界を克服すべく、高周波ナイフを用いて病巣周囲の粘膜を切開し、さらに粘膜下層を離して病変を切除するESDが新たな手技として確立されました。

2006年に胃がんに対するESD治療が、続いて2008年に食道がんに対するESD治療が、それぞれ保険適用となり、当院においても積極的にESDによる内視鏡治療を行っています。

EMR(内視鏡的粘膜切除術)

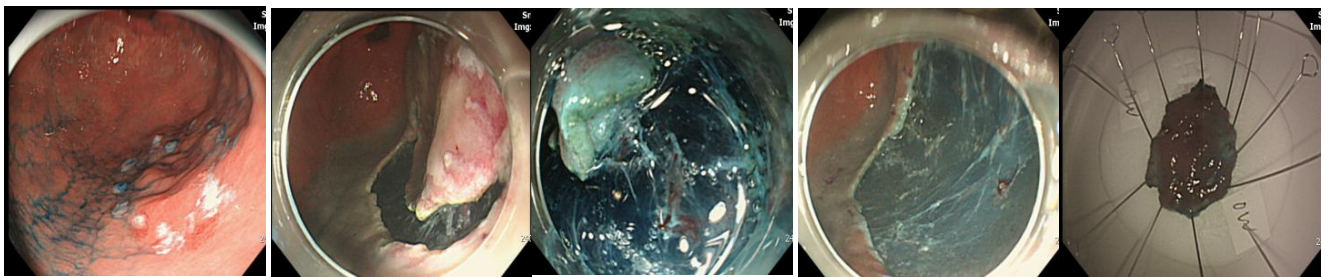
病変にスネアという金属の輪をかけ、電流を流して病変を切り取る方法。短時間でできるが切除できる大きさに限界がある。



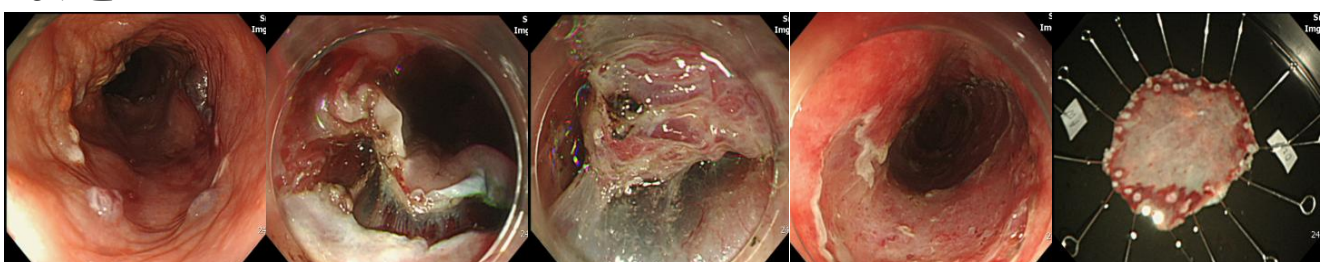
ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)

様々な種類の電気メスを使って、病変を切りはがす方法。切除できる大きさに制限がなく、大きな病変でも一度で切除できる。

胃ESD



食道ESD



マーキング

粘膜切開

剥離

切除終了

切除した病変

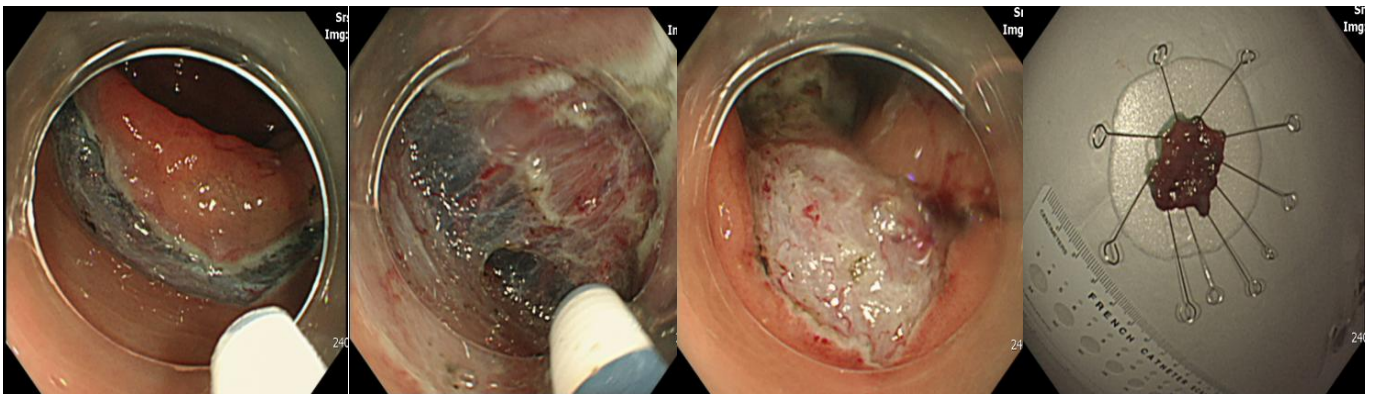
早期大腸がんに対する内視鏡的治療

大腸がんでも早期のがん（大腸粘膜にとどまるがん、または、粘膜の下層（粘膜下層）の浅い部分までにとどまるがん）であれば、内視鏡的治療が選択されます。

内視鏡的治療にはいくつかの種類があり、小さな病変であればスネアと呼ばれる金属製の輪を腫瘍の根元につけ、高周波電流を流して焼き切るポリペクトミーや、粘膜下層に生理食塩水などを注入し、腫瘍を持ちあげてからスネアをかけて切除する内視鏡的粘膜切除術（EMR）を用います。2cm以上の大きな腫瘍や、粘膜下層が硬くなり（線維化）、ポリペクトミーやEMRでは切除が難しい症例に対しては、内視鏡用の電気メスを使って粘膜下層を剥離して腫瘍を切除する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を用います。

ESDにより、今まで外科的切除となっていた大きな腫瘍も内視鏡で、一括摘除が可能となりました。大腸ESDは2012年4月に先進医療から保険適用になったばかりの、最先端内視鏡的治療法の一つで、厚生労働省より施設基準が示されており、まだ施術できる施設は限られています。当院は施設基準を満たした認定施設であり、安全、確実な治療を実施しています。

大腸ESD



粘膜切開

剥離

切除終了

切除した病変



内視鏡治療 風景

年間の治療件数(2015年9月からの一年間)

胃ESD: 37例

食道ESD: 16例

大腸ESD: 27例

緩和ケア研修会を開催しました

平成28年7月16日（土）・17日（日）の2日間にわたり、緩和ケア研修会を開催しました。緩和ケアにおける知識や技術のみならず、コミュニケーションスキルや地域連携など多岐にわたる内容となりました。



【緩和ケア研修会の目的】

厚生労働省は、がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画において、「がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得すること」を目標としています。

その目標のもと、緩和ケア基本教育の普及を目的として本研修会が開催され、より一層の推進に取り組んでまいります。

市民公開講座のお知らせ

「これだけは知っておこう！！ 病気・治療のまめ知識」と題し、月に1回市民公開講座を開催しています。40分程の講座で無料となりますので、お気軽にご参加下さい。



開催日	テーマ	会場
11/17 (木)	がん看護専門看護師 山内 洋子 看護師 13:30~ 「がんと向き合うために」	東館2階 講堂
12/7 (水)	泌尿器科 井上 均 部長 13:30~ 「前立腺がんの診断と治療」	東館2階 講堂
1/24 (火)	整形外科 宮崎 忠勝 部長 13:30~ 「ひざの痛みが出てきたら -変形性膝関節症について-」	東館2階 講堂

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会